



口之津小学校 学校だより

希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和5年2月13日

第15号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」は、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」を表題にしました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

口之津っ子、がんばっています

3学期も引き続き、「進んであいさつ」に取り組んでいます。1月末から一段と寒さが厳しくなったこともあり、あいさつの声はどうかとっていたのですが、「口之津っ子」がんばっています。

校舎前や校門前では、児童会を中心にあいさつ運動が続けられていますが、朝の登校時にもよい声が聞こえるようになりました。また、学校への突然のお客様にも進んであいさつをしています。どの学年もがんばっているのですが、特に6年生の意識が違ってきたと感じています。有終の美を飾り、また5年生以下の後輩によい伝統を残すよう、取り組んでいます。

ウルトラマン活動も

6年生を中心に、学校全体のためのボランティア活動「ウルトラマン活動」ですが、それも日々続けられています。子どもたちは、外遊びが好きで多くの子どもが運動場に出て遊びますが、帰ってきたときは、靴の泥で児童玄関はけっこう汚れています。6年生は、年間を通して、この清掃にも取り組んできました。18代ウルトラマンにとっては、残りの日々が少なくなってきましたが、最後までしっかりがんばってほしいと思います。その姿は在校生が見ていて、引き継がれていきます。



大雪の日の登下校へのご協力、ありがとうございました 学校安心メールの登録・確認もお願いします

1月25日の大雪の日は、登校時刻の変更等をお願いしました。また、スクールバスの運行ができず、ご心配をおかけしました。急な変更にもかかわらず、保護者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。当日は、3校時以降、授業を行うことができました。学校も運動場一面に積雪していましたが、子どもたちは、久しぶりの雪の感触を楽しんでいました。



今後、このような荒天等による対応の変更は、できるだけ早い判断・連絡に努めてまいります。しかしながら、それが遅くなることもありますので、その折には、学校安心メールを活用してお知らせします。改めて、学校安心メールの登録と日頃からの確認をお願いします。

登録用アドレス



入学説明会の開催

2月2日（木）、4月に入学する新入生保護者を対象に、入学説明会を行いました。コロナ禍でなければ、入学予定の子どもたちも来校し、口之津小学校を体験する予定でしたが、保護者の皆様だけの参加としました。



説明会では、学校経営方針、入学までの準備等の説明を行いました。**できる限り不安を解消して入学の日を迎えたいと思います。不明な点は、いつでも対応いたします**ので、そのような新入生保護者がおられましたら、学校へ連絡するようお願いいたします。

翌日の2月3日（金）には、6年生が、中学校進学のための入学説明会に保護者といっしょに参加しています。入学までの準備や心得を聞いた後は、授業を体験したり、部活動の見学がありました。確実に新しい春が近づいています。



机が広くなりました！

先週から子どもたちの机に変化が起きてます。それは、天板が広がったことです。学習用端末を日常的に活用する状況になり、子どもたちの机の上は、教科書やノート、筆箱、学習用端末、、、と置くものが増えていきます。このことに対応するために、**市教育委員会**

から**机の天板拡張部品の配布がありました**。納品の翌日から、さっそく取り付きました。広がった机に、子どもたちの評判は上々です。

2～3月の予定

2月19日 食育の日・家庭の日
21日 クラブ活動
22日 地区児童会
PTA本部役員会
(19:00～)

24日 お別れ集会
28日 委員会活動（新組織）
3月 2日 PTA評議員会
(19:30～) 公民館
6日 学期末短縮授業
(10日まで)

ゴールデンエイジ 子どもが伸びる時期

ゴールデンエイジという言葉をお聞きになったことがありますか？これはスポーツ庁室伏長官も言及されていますが、**子どもの運動能力が急激に発達する時期**のことで、**年長から11歳の時期がそれにあたり、多様な運動の経験が求められる**とのことです。ちょうど小学生の時期と重なります。

入学説明会で、子どもたちには、体を動かすことを含め、できるだけ毎日歩いて登校することを保護者の皆様にお願ひしました。学校でも外遊びを励行しています。何事を成すにも体の健康は必要です。その基盤を形成する小学校時代に運動をさせていくことの重要性を感じています。このことは学力が伸びることにもつながっていると考えます。

ゴールデンエイジである小学生の時期に、運動や学習、体験の機会をしっかりと確保してやることが大切です。子どもたちが伸びようとする好機を奪わないことに、私たち大人は努めたいものです。

